

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 8年 6月 4日	
東大阪市長 殿	
提出者	
住 所	大阪府大阪市中央区大手前2丁目
氏 名	大阪府知事 吉村 洋文
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	06-6941-0351
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	鴻池水みらいセンター
事業場の所在地	大阪府東大阪市北鴻池町1番18号
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	36:水道業
②事業の規模	年間下水道処理水量:88,290,000トン
③従業員数	17人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	①ばいじん	②複合材
	排出量	2,942 t	114 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①ばいじん	②複合材
	排出量	3,610 t	103 t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (1)下水汚泥(0211):下水処理工程において発生するので、脱水処理後に中間処理(焼却)を実施し、自社内で減量化をしている。 (2)複合材(3600):脱水してからホッパーで保管している。 (3)廃プラスチック(0600)、金属屑(1210)、木屑(0800)、ガラス屑(1310)、廃PCB等(7410):それぞれの種類毎に分類してから廃材置場、施錠した室内に保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記のとおり		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	③ガラスくず	④燃えがら
	排出量	0 t	121 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	③ガラスくず	④燃えがら
	排出量	0 t	170 t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (1)下水汚泥(0211):下水処理工程において発生するので、脱水処理後に中間処理(焼却)を実施し、自社内で減量化をしている。 (2)複合材(3600):脱水してからホッパーで保管している。 (3)廃プラスチック(0600)、金属屑(1210)、木屑(0800)、ガラス屑(1310)、廃PCB等(7410):それぞれの種類毎に分類してから廃材置場、施錠した室内に保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記のとおり		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	⑤廃プラスチック類	⑥木くず
	排出量	10 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	⑤廃プラスチック類	⑥木くず
	排出量	10 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (1)下水汚泥(0211):下水処理工程において発生するので、脱水処理後に中間処理(焼却)を実施し、自社内で減量化をしている。 (2)複合材(3600):脱水してからホッパーで保管している。 (3)廃プラスチック(0600)、金属屑(1210)、木屑(0800)、ガラス屑(1310)、廃PCB等(7410):それぞれの種類毎に分類してから廃材置場、施錠した室内に保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記のとおり		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	⑦がれき類	⑧水銀使用製品産業廃棄物(照明機器)
	排出量	0 t	0.39 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	⑦がれき類	⑧水銀使用製品産業廃棄物(照明機器)
	排出量	0 t	0.5 t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (1)下水汚泥(0211):下水処理工程において発生するので、脱水処理後に中間処理(焼却)を実施し、自社内で減量化をしている。 (2)複合材(3600):脱水してからホッパーで保管している。 (3)廃プラスチック(0600)、金属屑(1210)、木屑(0800)、ガラス屑(1310)、廃PCB等(7410):それぞれの種類毎に分類してから廃材置場、施錠した室内に保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記のとおり		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	⑨廃油	⑩紙くず
	排出量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	⑨廃油	⑩紙くず
	排出量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	(1)下水汚泥(0211):下水処理工程において発生するので、脱水処理後に中間処理(焼却)を実施し、自社内で減量化をしている。 (2)複合材(3600):脱水してからホッパーで保管している。 (3)廃プラスチック(0600)、金属屑(1210)、木屑(0800)、ガラス屑(1310)、廃PCB等(7410):それぞれの種類毎に分類してから廃材置場、施錠した室内に保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	上記のとおり		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	下水汚泥(0211)		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	388,090	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	393,741	t	t
	(これまでに実施した取組)			
特になし				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	399,795	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	439,869	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
特になし				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	下水汚泥(ばいじん)	複合材(しき)	
	全処理委託量	2,942 t	114 t	
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
	特になし			

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	下水汚泥(ばいじん)	複合材(しさ)	
	全処理委託量	3,610 t	103	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t		t
	再生利用業者への処理委託量	t		t
	認定熱回収業者への処理委託量	t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t		t
	(今後実施する予定の取組)			
	特になし			
	※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(		令和 7	年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		ガラスくず		燃えがら	
	全処理委託量		0	t	121	t
	優良認定処理業者への処理委託量			t		t
	再生利用業者への処理委託量			t		t
	認定熱回収業者への処理委託量			t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			t		t
	(これまでに実施した取組)					
	特になし					

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	燃えがら
	全処理委託量	0 t	170 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		
	※事務処理欄		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	10 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	10 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和 7 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	水銀使用製品産業廃棄物(照明機器)	
	全処理委託量	0	t	0.39 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
	特になし			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	水銀使用製品産業廃棄物(照明機器)
	全処理委託量	0 t	0.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		
	※事務処理欄		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度(年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度(令和 6 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	廃油		紙くず
	全処理委託量	0	t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
	特になし			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	紙くず
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		
	※事務処理欄		

備考

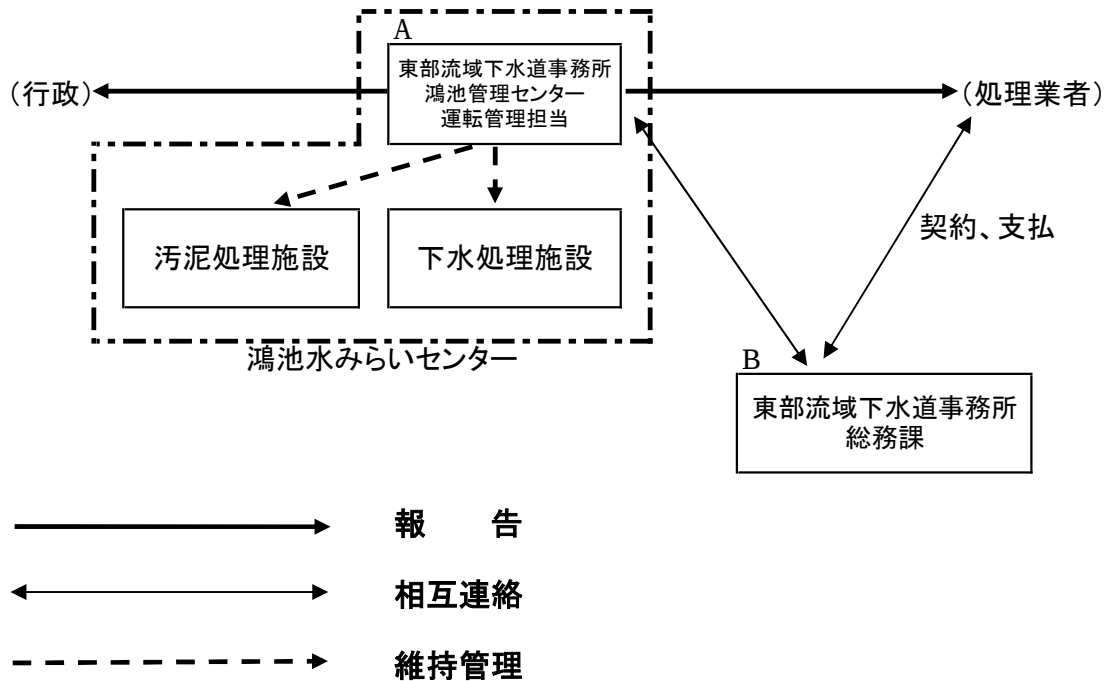
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

〔産業廃棄物発生・処理工程フロー〕

[illegible]

Waste Type	Cost	Unit
③ ガラスくず	1310	t
⑤ 廃プラスチック類	0600	t
⑥ 木くず	0800	t
⑦ がれき類	1500	t
⑧ 水銀使用製品 産業廃棄物	2520	t
⑨ 廃油	0310	t

社 内 組 織 図 及 び 各 部 署 の 役 割
〔社内組織図〕



〔各部署の役割〕

部 署	役 割
A	- 産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 - 産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック集計等 - 保管施設での保管量の把握、記録の作成等 - 各施設の維持管理点検等 - 産業廃棄物処理計画の策定及びその実施 - 中間処理施設、最終処分場の稼働状況の把握、記録の作成等 - 産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等 - 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 - 産業廃棄物の適正管理 - 行政に対する報告等 - 各部署間の調整及び指示
B	- 処理業者との委託契約、支払い - 上記内容をAに報告